

# ウチヤマタイムズ

(株)ウチヤマホールディングス 〒802-0044 福岡県北九州市小倉北区熊本2丁目10-10 電話:093-551-0002  
発行日:令和3年5月20日 編集:岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里 監修:内山文治・吉岡信之

6  
No.232

2021

# 祝 創立五〇周年!



ウチヤマグループの50年を振り返る

- 1971年 6月 福岡県北九州市に内山ビル株式会社を設立、内山文治が代表取締役社長に就任
- 1991年 4月 カラオケボックス1号店『コロッケ俱楽部黒崎店』を開店
- 1995年11月 飲食事業1号店の居酒屋『酒膳房然』を開店
- 2003年 4月 介護付有料老人ホーム「さわやかパークサイド新川」を開所
- 2004年12月 内山ビルより介護部門を新設分割し、株式会社さわやか俱楽部を設立
- 2005年11月 株式会社コウノを存続会社として関連会社6社を吸収合併し、株式会社ボナーに商号変更
- 2006年10月 さわやか俱楽部、ボナーの持株会社として株式会社ウチヤマホールディングスを設立
- 2008年 7月 ホテルと住宅型有料老人ホームの併設施設『さわやかハートビア明礬』を開設
- 2012年 4月 大阪証券取引所(現東京証券取引所)JASDAQ(スタンダード)に株式上場
- 2013年12月 東京証券取引所市場第二部に市場変更
- 2014年 8月 ボナーがタイに合弁会社Bonheure (Thailand) Co.,Ltd.を設立
- 2014年 9月 東京証券取引所市場第一部に上場
- 2014年11月 タイ・バンコクに海外1号店『かんてきやスクンビット店』を開店
- 2015年11月 障がい者支援事業所第1号・放課後等デイサービス「さわやか愛の家」を開所
- 2016年 9月 訪問看護事業所第1号・「さわやか訪問看護ステーション八幡」を開所
- 2018年 7月 さわやか俱楽部がインドネシアに合弁会社PT.Sawayaka Fujindo Indonesiaを設立し、日本語教育に特化した職業訓練校を開校
- 2021年 4月 内山文治がウチヤマホールディングスの代表取締役会長に就任、山本武博が代表取締役社長に就任



かんてきやスクンビット店

ウチヤマグループは、今年の六月四日に創立五〇周年を迎えます。一九七一(昭和四六)年の内山ビル株式会社設立以来、不動産、カラオケ、飲食、介護など対象業種を拡大しながら、地域のお客様のために様々な形でサービス提供を続けてきました。現在は北海道から沖縄まで日本全国各地に事業所を開設し、海外でもタイとインドネシアにて現地法人を設立しています。今年四月にはグループ創立以来初めて社長が交代し、より一層の事業拡大と社会貢献を目指して、次の五〇年に向けた取り組みが加速しています。

## ふくおか経済 表紙に掲載

ウチヤマホールディングスの社長交代とウチヤマグループの創立50周年を記念して、福岡の“いま”を伝える地域経済情報誌『ふくおか経済』の2021年6月号表紙に山本武博社長が掲載されることになりました。雑誌を発行する株式会社地域情報センターの松岡泰輔会長と記者の池田大典係長が4月28日に本社へ来社され、山本社長の生い立ちやこれまでの経歴とともに、ウチヤマグループの今後の展望についても詳しく取材していました。だきました。6月1日に発行されますので、書店で見かけたらぜひ手に取ってみてください。



\*写真は2013年2月号の表紙に内山社長(現会長)が掲載されたものです

ウチヤマグループ創立以来、お客様や地域の方々、株主の皆様など多くの方々に支えられて、東証一部上場企業へと成長することができます。「社会のために」という当社と同じ使命を持つて新型コロナウイルスと日々闘う医療従事者の皆様が安心して業務に携われるようにお役立ていただきたいと思います。(小橋佳緒里)

ウチヤマグループ創立以来、お客様や地域の方々、株主の皆様など多くの方々に支えられて、東証一部上場企業へと成長することができます。「社会のために」という当社と同じ使命を持つて新型コロナウイルスと日々闘う医療従事者の皆様が安心して業務に携われるようにお役立ていただきたいと思います。(小橋佳緒里)



## 地元の医療機関に寄付金を贈呈



北九州市立医療センター  
院長 中野徹 様より

五月一八日、ウチヤマグループ創立五〇周年を記念した社会貢献事業の一環として、福岡県北九州市にある「北九州市立医療センター」へ五〇万円の寄付金を贈呈しました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、多くの医療従事者の方々が命の危険と隣り合わせで日々の業務に携わっている現状に心から感謝の気持ちを込めて、内山会長から市立医療センターの中野徹院長と杉本優子看護部長へ寄付金を手渡しました。



杉本看護部長 内山会長 中野院長

オンラインで繋ぐ福祉の架け橋



# オンラインで繋ぐ 福祉の架け橋

## 「さわやか俱楽部」フェイスブックを開設!!

さわやか俱楽部では、入居者様・利用者様のご家族や一般の方々と、介護福祉の役立つ情報交換をオンラインで行うため、Facebookの公式ページを開設しました。どなたでもアクセスが可能で、以下のような【役立つ】【楽しい】【癒される】コーナーを設けています。今後も新しい介護福祉の話題をどんどん発信していきます。

スマートフォンの方はQRコードからぜひご覧ください。ダイレクトメッセージからの感想や情報提供もお待ちしています!(運営指導部・原田 裕子)



### 企画内容の例

#### さわやか介護相談室

あなたの介護の悩みに  
「さわやか俱楽部」がお  
答えします。

#### 私の介護体験エッセイ

家族を介護する実体験の  
リアルな喜怒哀楽を綴っ  
ていきます。

#### 今日の満点笑顔

高齢者とペットの交  
流など、癒しと元気  
満点の写真を紹介  
します。

#### さわやか俱楽部ネット情報の紹介

さわやか俱楽部やウチヤマホールディ  
ングスが発信するネット情報(ホーム  
ページ、ブログ、広報誌、ユーチューブ  
など)をご覧になれます。

#### イベント情報

「セミナー」「子ども  
食堂」などの福祉イ  
ベント情報をご紹介  
します。

#### 社員 補助付

さわやかハートピア明礬&さわやか別府の里

## 日帰り新プラン登場!

さわやか俱楽部が大分県別府市で運営する温泉ホテル「さわやかハートピア明礬」と「さわやか別府の里」では、社員の福利厚生の一環として宿泊プランの利用に対する補助を行っていますが、日帰りでも手軽に楽しめるように、食事と温泉、お部屋での休憩がセットになった「日帰りプラン」を新設しました。ぜひご家族連れでご利用ください!

別府市旅館組合加入  
ホテル さわやかハートピア 明礬  
別府明礬温泉/源泉かけ流し  
大分県別府市大字鶴見1190番地の1(明礬温泉)  
TEL.0977-66-1321

個室露天風呂  
パリアフリー対応  
別府堀田温泉  
大分県別府市堀田4-2(別府堀田温泉)  
TEL.0977-26-1117

### 《さわやかハートピア明礬》

お部屋での昼食・休憩  
11:00~17:00 + 貸切風呂  
50分



通常お一人様 ⇒ 社員または  
3,500円 2親等以内の家族 **2,500円**

### 《さわやか別府の里》

お部屋(風呂付)での昼食・休憩  
11:30~15:00 (大浴場も利用可)



通常お一人様 ⇒ 社員または  
3,000円 2親等以内の家族 **2,000円**

## キラリ一等星 光り輝くスタッフのご紹介!



#### 施設長

**小島 尚人さん** [27歳]

さわやかさの館  
栃木県佐野市



ことも嬉しくて、もっと頑張ろうとモチベーションを上げることができました。時には大変だと思うこともあります、日々充実感を持って仕事をさせていただいている。

今年は、福島県に新設する2施設の立ち上げに関わらせていただくことになりました。さわやか俱楽部がどの地域でも愛される企業・施設になるように、一生懸命努めさせていただきます。また、これからは自己成長のため、資格や知識の取得をしたいとも考えています。

休日は、加入している草野球チームの練習や試合によく参加しています。屋外での活動によって、普段とはまた違った環境で気持ちの入れ替えができるところが良い点だと思います。今はコロナ渦の中で、お客様が楽しめる機会もプライベートも大きく制限されてしまう世の中ですが、いつでも家族と会えたり、外で楽しめる機会が一日も早く来ることを願って、一日一日今だからこそできることを頑張っていきます。

新卒で就職活動を行っていた際に、さわやかさの館のホームページとブログが目に留まり、施設を見学させていただいたことが入社のきっかけでした。その時に対応していただいた当時の原野エリアマネジャー(現・副部長)や志賀施設長(現・エリアマネジャー)の説明と施設の明るい雰囲気が気に入って、この会社で働きたいという意思が固りました。

入社当初は生活相談員として従事させていただく中で、入居者様や利用者様、そのご家族様との関わりの中で、自分が提供したサービスに対して感謝の言葉をいただいた時、非常に仕事のやりがいを感じました。ショートステイの担当で送迎に行った際に、私が迎えに来たことを喜ばれているお客様の笑顔を見ると、私も嬉しくなりました。

3年前からは施設長として、施設内だけでなく外部の多くの方々との関りを持つ中で、さらに広い視野で仕事に臨めるようになりました。会社から自分の頑張りや実績を評価していただける

# LIFE MAP ライフマップで生きがい発見

story  
20

## 家族に元気な姿を見せたい

さわやか鳴水館 [福岡県北九州市]

村上アサ子様は1940(昭和15)年1月1日に田川市でお生まれになり、現在81歳。偶然にも隣接する嘉麻市出身の将棋棋士、ひふみんこと加藤一二三名人と同じ誕生日です。さわやか鳴水館にご入居されたのは2017年2月28日、急性心不全の治療後でした。

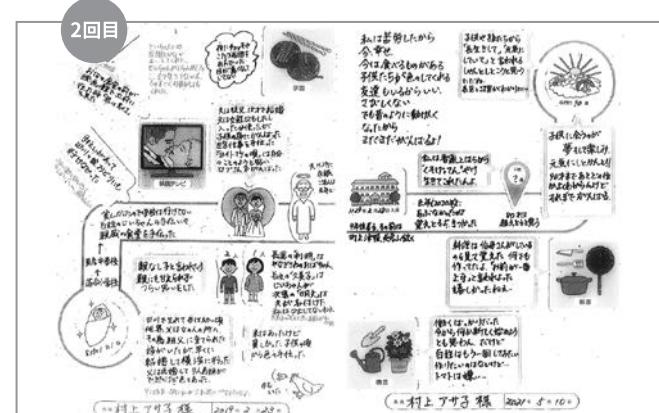
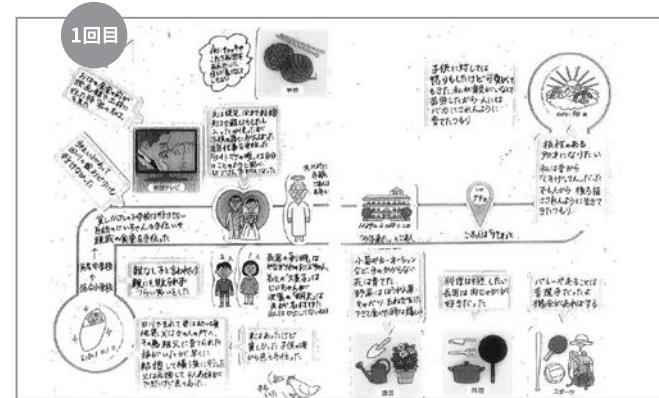
入居当初から「小さい時から苦労した」と言われていましたが、入居から2年経過した2019年2月に実施したライフマップの作成にあたり、より詳しくお話を聞くことができました。

戦前から戦後にかけての混乱の時期を生き抜いた女性の「根性」をライフマップからうかがい知ることができました。園芸や料理への興味が感じられましたので、声かけを行いましたが、継続して行えたのは体操や行事への参加、タオルをたたむ作業等でした。ライフマップ作成以前は誰かと話すことが楽しみの一つでしたが、作成後は施設内の軽作業にもよく参加されるようになりました。



2020年の2月頃から、徐々に新型コロナウイルスが日本国内で拡大するのに伴い、行事等を控えるようになりました。人と話すことが大好きな村上様は、心身においての機能低下もなく平穏に過ごしていましたが、7月21日の朝に右半身の脱力を認め、救急入院となりました。診断は脳梗塞。搬送先の担当医からご家族様に「いつどうなってもおかしくないので、身内を呼んでほしい」と説明がありました。

その後、生命の危機を脱してリハビリ病院への転院も勧められましたが、ご本人の希望により8月4日に鳴水館へ戻つてこられました。しかし、脳梗塞の後遺症から発語が少なくなり、



座っていても体が傾くような状態で改善がなかなか見られない中、9月28日に血中酸素飽和濃度が80%台まで下降しました。倦怠感の訴えや呼吸苦もあり、心不全の既往もあることから、今後の対応についてご家族様に相談し、同日付で「ターミナルケア同意書」を締結。その後約2ヶ月間は、ご家族様がほぼ毎日、数分でも面会に来られました。何度も明日の命を考える日々でしたが、職員皆で支援できることを続け、12月には年末年始の行事にも参加できるほどに改善していました。安定した体調が続いたこともあり、2021年5月に2回目のライフマップを作成しました。

今回は、2年前に作成したライフマップを見ながらお話を伺いましたが、驚くことに、昔の出来事については1回目の時よりもさらに細かい話が出てきたため、一部加筆しました。コロナ禍での村上様の願いは「子どもに会うこと」です。制限ある日々の中で、村上様の夢や希望はささやかな願いに変わり、現在は「家族に元気な姿を見せたい」という想いが生きる支えとなっています。

命ある限り人生は続いていきます。村上様の人生の地図の続きを制作できること、2年前のことを思い出しながら話せたことは、ご家族様だけでなく日々の生活を支える私たちにとっても嬉しいことの一つです。新型コロナウイルスにより新しい生活様式が続いているが、村上様の精神力から「人間は思うよりも強く、しなやかに世の中に適応して生き抜くことができる」ということを感じています。いつか大声で笑い合える日や、外出が自由にできる時がやってくると思います。その時まで村上様は「頑張る」と言っています。私たちはその頑張りを支え続けていこうと思います。(梶原 加代子)

\*写真・文章は、入居者様ご本人およびご家族様の許可を得て掲載しています。

## ケーキバイキング

母の日会で行ったケーキバイキングの様子をお知らせします。美味しいフルーツ盛り…14種類のケーキがずらりと並びました。

皆さまお好みの物をたくさんお皿にとって、ニッコニコでした。楽しい母の日会でした。(岡野 登美世)



## 母日のプレゼント

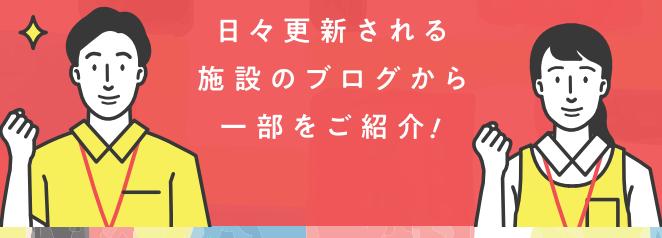
先日、箱に写真やメッセージを付けてプレゼント作りをしました。指先を使って両面テープを剥がし、たくさんある飾りを自分で配置を決めて貼っていました。



完成したプレゼントがこちら。かわいい写真的プレゼントに感謝の気持ちを込めて。作っていた子ども達も嬉しそうに眺めていました。

これからも季節に合ったイベントなどを大切にていきたいと思っています。(小田 美古)

# さわやかだより



日々更新される  
施設のブログから  
一部をご紹介!

## 6周年記念 マグロの解体ショー

年間を通して一番人気のマグロの解体ショーが今年もやってきました。今年は新型コロナ感染予防のため各フロアに分かれての開催になりました。このため、地域交流スペースで行った解体ショーはZOOMを使っての初のリモート中継でお届けしました。



最初に解体前の57キロあるマグロを各フロアのご利用者さまに見せて回りました。みなさま、「大きいね、これで何人分とれるの」とびっくりした表情で覗き込んでいました。この様子をカメラマンが追いかけて撮影しました。

一通り終わると交流スペースに戻り、解体ショーのスタートです。大きな包丁でさばくところもカメラは捉え、各フロアのテレビに映し出されました。見事な包丁さばきに会場からは拍手が沸き起きました。



続いて、柵どりしたマグロをお刺身用に切り分けました。このお刺身をメインにちらし寿司、天ぷら、漬物、フルーツなどが本日の昼食メニューです。ご利用者さまたちはこの豪華なもてなしに大喜び!「やっぱり、刺身はマグロだね」。午後からは職員による余興が始まりました。そして、4月生まれのご利用者さまの誕生会でお開きになりました。(木主 和治)

## リモートで結婚式

ご入居者様が娘様の結婚式にリモートで参加するという初めての試み。ドキドキでしたが、とても感動の結婚式となりました。そのご様子がこちらです。



娘様がお嫁にいくのは嬉しくもあり、ちょっと涙もあり…娘様のウェディングドレス姿を見て、思わず涙ぐまれている入居者様。周りで見守るスタッフも感動して涙…まだまだ終息を見せないコロナウイルス…外出自粛で実際に結婚式会場に行けなかったのはとてもとても残念でしたが、こういったリモートでの形で参加が出来て、すごく良かったと思います。とても心に残る結婚式でした。ありがとうございました。娘様、どうかお幸せに…(津村 真実)

## こどもの日

GW最終日です。子供の日ということでお風呂は菖蒲を浮かべ菖蒲湯にしました。利用者様も『うわーすごいね』と喜んでくださいました。



おやつには、子供の日といえば!『かしわもち』を皆さんで食べました。すごく美味しくて皆様ペロリと食べてました。また色んなイベントを楽しんでいきましょう。(立野 楓)

## 新人研修レポート!

今年7月に開所する「さわやかあかしの里」から4名の職員さんが研修に来られました。覚えることが山ほどあり少し驚いておられました。先輩職員が教えていることをとても真剣に聞いている姿勢は、我々も忘れないようにしないといけません。限られた期間ですが、これからもよろしくお願いします。(植田 修平)



## 串カツ流山店

ゴールデンウイークを楽しもう。食レクウイーク最終日、串カツ流山店がオープンしました。

揚げたて串カツとノンアルコールビール最高! 皆さまの美味しい笑顔が見たいので大量の串揚げを揚げ続けている相談員と事務員。ちょっと揚げたてをつまみ食いしたけど美味しい。7種類全部つまみ食いしたけどどれもこれも美味しい。7種類はつまみ食いではないけどね。豚・えび・あじの大葉巻・うずらの玉子・じゃがいも・おくら・れんこん。各フロアへお届けします。2Fフロアはこのバットを3回はおかわりしました。



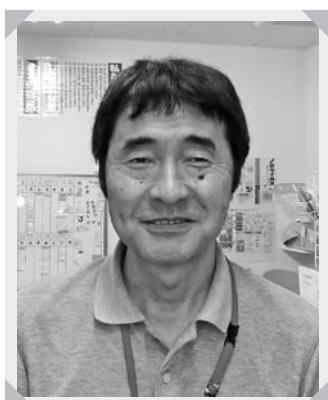
皆さまとってもお元気です。それでは元気いっぱいの美味しい笑顔をどうぞ。(藤島 真州美)





## 木村 亜矢乃さん [コロッケ倶楽部 茨城石下店／茨城県常総市]

本日は開店業務から勤務に入っています。朝のオープンから6組の入室があり、うち5組はBOXランチでの入室でした。11時にご来店いただいたお客様は時間もコースもまだ決まっていないとおっしゃっていたので、時間制、ノータイム、BOXランチの説明をさせていただき、その中でもBOXランチをお勧めしていますと話したところ、BOXランチでと言って頂けました。また入室されたお客様からエアコンの効きがいいねと言っていただけました。これも毎回きちんと清掃を行っているから頂ける言葉だったので、とてもうれしかったです。



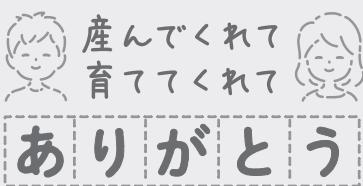
## 辻 俊昭副施設長 [さわやかいわつき館／埼玉県さいたま市]

子どもの日イベントとして菖蒲湯での入浴を行い、おやつでは柏餅を提供しました。菖蒲の葉の香りは薄かったものの、入居者様は雰囲気が楽しめたと喜ばれていました。私が幼い頃には、子どもの日に菖蒲湯に入るという習慣はありませんでしたが、調べてみると血行促進や保湿の効果があり、昔から健康長寿を祈って入る習慣があるということでした。柏餅は入居者様に合わせて細く切ったり、嚙下の弱い方には水まんじゅうに替えたりしてそれぞれ提供しました。これからも四季の変化に合わせて行事を楽しんでいただけるように取り組みます。

私の母はミャンマーのパオ民族が住んでいる村で産まれ、18歳で結婚しました。母は私にパオ民族の苗字の「ナン」という名前をつけてくれました。私が産まれたとき、母は父の家族と一緒に暮らしていました。父の家族は、最初の子供は男の子が欲しかったようで、女である私が産まれて母は父に嫌われました。それを分かっていた母は、私にたくさんの愛情を注いでくれました。

父の母親は厳しく、母が家事や仕事をうまくできないと叱り、きつい話を毎日されていました。母はそれを使いつぶしながら、その後3人の子供を産みました。父は仕事が上手くできずに毎日お酒を飲み、私が中学校に入る時には飲み過ぎで亡くなりました。母は31歳で独身になりましたが、まだ若く美人なので、結婚の申し込みに来る男性もいたほどです。母は、父の家族に迷惑をかけたくないで、3人の子供を連れて別の所に引っ越しました。私は長女なので、母の力になる為、母と一緒に市場で野菜を売る仕事をしながら生活していました。

中学校を卒業した時、私は母に高校へは行かないと言いました。母は悲しい顔をして進学を諦めないように言いましたが、私は高校へ行くのを辞めて首都へ行って働くことを決意し、美容院で働きながら弟と妹の



さわやか笠寺館／愛知県名古屋市

## ナンニラーウインさん[30歳]



ナンさんのお母さん

学費を稼ぎました。母にはたくさん褒められて嬉しかったです。仕事で困ることや人間関係で上手くいかない時には、どうすれば気楽になるか、我慢できるのかを母に教えてもらいました。

母は、お年寄りを尊敬して自分の為に良いことを教えてくださる方々にお礼をするように教えてくれました。私は日本へ行きましたが、2013年から勉強を頑張りました。しかし、お金の問題や書類の手続きが上手くいかず、何回も失敗しました。母は諦めないで頑張るように何度も応援してくれました。そして2018年に、ようやく日本で働けるようになりました。

現在は、弟が結婚して子供ができたので、母は孫の世話をしながら幸せな生活をしています。今年の5月13日は母の49歳の誕生日でした。新しい家を作るために、私は母に200万円をプレゼントしました。母とインターネットで話をした時、母の嬉し涙が見えました。母の夢は、いつか自分の庭と大きな家を持つことでした。今、その夢が叶ったと思います。私は母を見て、人生はいくら大変でも頑張り次第で幸せになれると思いました。これからも母の為、親孝行していきます。私を産んでくれてありがとうございます。



MESSAGE  
FROM  
CHAIRMAN  
ウチヤマグループ会長  
内山文治



# 激変する社会の中でどのように生きるべきか

## 変えるべきものと変えてはいけないもの

「コロナ禍に突入して一年以上経過しましたが、感染症の拡大はいまだに収まらず、現在も各地で緊急事態宣言をはじめとする行政からの要請により、ボナーの飲食店・カラオケ店などでは時短営業や休業を余儀なくされています。先日は当社の決算を発表しましたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響により大きな打撃を受けしており、今年度も先行きが不透明な状況が続いています。一日も早い事態の終息と経済の安定化が望まれます。

新型コロナウイルスをめぐっては、現在ワクチンの接種が進められている一方で、より感染力の強い変異型のウイルスが拡大するなど、状況は日々刻々と変化しています。社会情勢の変化が激しく起こる中で、正確な情報をいち早くつかんで的確な判断を下し、統制の取れた組織のもとに素早く対処していく必要があります。

しかし、時代が変化しても変えてはならないものもあります。

「どんな時でも変えてはならない原理原則」と「変化させていかなければいけないもの」の見極めが大切です。私自身、今年四月から会長という立場になり、経営の主なかじ取りを山本新社長にバトンタッチしました。組織のあり方は時とともに変化していきますが、社長が変わつてもウチヤマグループの基本理念が変わることはありません。「慈愛の心」「尊厳を守る」「お客様第一主義」という理念のものに、お客様にいかに喜んでいただきを常に考えながら、その時々の時代に合ったサービスの形に変えて提供し、社会に貢献していく必要があります。

ビジネスの世界でも、自分の人生においても、すべてが順風満帆でうまくいくことばかりではありません。何か大きな壁にぶつかつ

た時にどう過ごすか、どう行動するかによってその後の状況は大きく変わります。ここで二匹の力エルの話をします。

ある日、二匹の力エルが液体の入ったバケツに落ちてしましました。飛び出そうとしてもバケツの淵までは遠く、届きそうにありません。二匹のうちの一匹は助からないという状況を受け入れて、泳ぐことを諦めてしまいました。しかしあう一匹の力エルは、何とか生きようと手足をバタつかせて泳ぎ続けました。すると、急に固いものが足に当たり、それを足場にジャンプするどバケツから出ることができました。実はバケツの中身は牛乳で、手足をバタつかせている間に固まってバターの塊ができたのです。

私たちは、日々様々な状況に立たれます。良い時もあれば、悪い時もあります。自分が思ってもみなかつた悪い状況に陥った時、皆さんはどうしますか？悲観的に物事を捉えて、後悔の念にかられ、世界が終わつたかのような感情に押しつぶされそうになったことはありませんか？

そんな時でも、二匹の力エルの例にあるように、状況を変えようとするかしないかで結果は大きく変わってきます。一番悪いことは、結果を恐れて何もしないことです。ただ考えるだけでなく、行動に移すことが大切です。成功するか失敗するかは神様しかわからりません。しかし神様は、私たちに乗り越えられない試練は与えないと言います。だからこそ、自分の限界を自分で決めるのではなく、常に挑戦する心を持つて自ら考え、積極的にプラス発想で行動しましよう。

今年の六月四日で、ウチヤマグループは創業五〇周年を迎えます。これからも変わり続ける環境の中で、変わらない基本理念を念頭に置きながら、時代に求められる形へとサービスを変化させていきましょう。そして、たとえ困難な状況になつても決してあきらめることなく、前向きに挑戦を続けながら、次の五〇年へと続く歴史を作っていくことを願っています。

読んでみよう！

今月のオススメ図書は…



- 1 芥川龍之介  
(筑摩書房 出版)
- 2 ザ・グレイテスト・シークレット  
(ロンダ・バーン)
- 3 ギグ・マインド・セット  
(ポール・エステス)

- 4 時代の異端者たち  
(青木 理)
- 5 ぼく モグラ キツネ 馬  
(チャーリー・マッケジー)



## 子ども食堂

# 1年ぶりの 再開&再会



### 主な変更点

前回まで  
 ・毎月2回開催  
 ・自由参加  
 (定員30名)  
 ・全員と一緒に食事

今から  
 ・毎月1回開催  
 ・事前予約制  
 (定員15名)  
 ・1度に食事を  
 するには8名まで

### ウチヤマ子ども食堂に関する問い合わせ先

**☎ 093-551-0002** (担当:中山・山下)

新型コロナウイルスの流行により、昨年4月から休止していたウチヤマグループが主催する子ども食堂「ウチヤマ子ども食堂(足立・富野)」が、2021年4月より再開することになりました。

休止期間中も市民センターへ子どもたちから「子ども食堂はいつ再開するの?」と問い合わせが入っていたとのことで、とても嬉しく思います。子どもたちが関心を寄せ続けてくれたのは、ボランティアで参加している北九州市立大学の学生の皆さんのが、子どもたちへのメッセージやクイズなどを掲載した「子ども食堂だより」を毎月発行してくれていたおかげです。

開催にあたっては、参加者全員の検温、手や机などの消毒、一度に食事をする人数の制限など感染予防を万全に行った上で実施しています。また以前は、食事の前後の空き時間を使って、鬼ごっこやボール遊びなど自由に遊ぶことができましたが、今回からはお絵かきやトランプ・オセロなどで静かに遊ぶ形に変更しています。

昨年までと比べると様々な制限は加わりましたが、ボランティアの皆さんとも協力し、安心・安全を第一に、子どもたちにとって楽しく安心してお腹も心も満たせる場所になれるよう努めてまいります。(さわやか俱楽部 本社営業部・山下 哲平)

## コロナ禍でも面会可能に! オンライン面会 実施中

新型コロナウイルスの感染拡大により、さわやか俱楽部の介護施設において多くの地域で入居者様とご家族様等との面会を制限させていただいています。入居されている親や兄弟に会えず、ご心配される方が増える中、コロナ禍でも面会を希望される多くのご家族様の声を受け、3月中旬より「Zoom」を使用したオンライン面会をスタートしました。5月にオンライン面会を実施したお客様の声をご紹介します。



### 《さわやかこうべにし館》

ゴールデンウイーク中に黒田様のご家族様から初のオンライン面会の申し込みがありました。長女様の家にお孫さんが来られたとのことで、長女様、お孫さんと画面越しに久々の面会となりました。お孫さんにお子様が生まれたとの報告もあり、可愛いひ孫さんとも初めて面会をされた黒田様は「初節句を迎えたおめでたい日に話ができた良かった」と言われていました。



こうべにし館では、2021年1月の緊急事態宣言以降、感染拡大防止のために面会制限が続いている状況です。オンライン面会では、お互いに顔を見ながら話ができる、写真もプリントアウトできるとのことで、家族様も喜んでおられました。この時の面会の様子を施設のブログにて紹介したところ、感謝のコメントも頂いています。(榊原 秀一郎)

## HAPPY WEDDING



小林 小百合さん(旧姓・杉山)&翔太さん

4月26日に結婚しました。まだまだ未熟な二人なので、多くの方に助けていただく場面があると思います。これからは二人で協力し合いながら、明るく楽しい家庭を築き上げていきたいと思いますので、今後もご指導ご鞭撻をよろしくお願いします。

♥さわやか笠寺館  
看護職員・小林 小百合



## HELLO BABY!

せな  
大野 聖奈ちゃん

2021年4月8日生まれ

待望の第一子が誕生しました。  
初めてのことばかりで不安もありますが、夫婦協力して育てていきたいと思います。

パパ

さわやかめぐり館  
介護主任・大野 翔平



あなたのお悩み話してみませんか?

ひとりで  
悩まないで!

## さわやか相談室



お気軽にどんなことでもご相談ください。  
お電話、メールお待ちしております!

電話番号

**090-9497-5764**

メール sawayakasoudan@docomo.ne.jp